

中期経営計画に関する取組状況報告
(令和元年度実績)

1. 全体概要

【年度評価区分】

各年度の取組計画に対する実績とともに、令和4年度末の到達点（目標値）に対する進捗度を勘案して、次の4段階で評価しています。

S：計画よりも進捗

A：計画通りに進捗

B：概ね計画通りに進捗

C：進捗に遅れが見られ、改善が必要

項目番号	取組項目	達成指標	目標値 (令和4年度末)	実績	年度評価	掲載頁
				R 元		
1-1	受託事業におけるサービス向上・充実	利用者満足度	90.0%以上	100% <small>(市民サービス事業)</small>	S	P 2
		研修受講者数	累計120人以上	42人		
1-2	受託事業における効率化の推進	業務見直し件数	累計5件以上	0件	B	P 3
		競争発注率	50.0%以上	52.5%		
1-3	受託事業における適切な事務処理の推進	業務の進行管理	進行管理の徹底	進行管理の徹底	A	P 4
		公金納付期限の遵守	納付期限の遵守	納付期限の遵守		
1-4	受託事業に関する取組の検証	検証の仕組みづくりと取組の定着	検証の取組定着	仕組みの構築	A	P 5
		委員会等の開催回数	累計30回以上	11回		
2-1	市民雇用の推進	職員全体の市民雇用率	86.0%以上	87.2%	B	P 6
		事務局勤務を除く市民雇用率	90.0%以上	89.9%		
2-2	障がい者の就労機会の提供	業務発注件数	累計50件以上	16件	A	P 7
		法定雇用率の遵守・継続	遵守・継続	遵守・継続		
2-3	市内事業者との連携の推進	市内事業者発注率	87.0%以上	87.2%	B	P 8
		協力事業者（市内）登録数	100社以上	93社		
2-4	就労体験に関する取組の推進	就労体験受入者数	累計60人以上	20人	S	P 9
		就労体験メニュー数	累計30種類以上	30種類		
3-1	情報提供の推進	法人基本情報等の公表	情報提供の充実	独自ホームページの開設	A	P 10
		受託事業情報の提供	情報提供・更新	情報提供の推進		
3-2	地域や団体等との連携	多様な主体との関係づくり	認知度向上	取組の検討	A	P 11
		地域行事等への参加・協力	累計20回以上	2回		
3-3	職員の育成・人材確保	OJTの推進	スキル継承	OJTの推進	A	P 12
		OFF-JT受講回数	累計40回以上	16回		

2. 実施計画取組状況

視点1	受託事業におけるサービス向上・充実，効率化の推進		
取組項目	1-1 受託事業におけるサービス向上・充実(Quality)		
取組概要	<p>市からの受託事業において，これまで蓄積してきたノウハウや実績を活かし，公社からの提案等を含めて，サービス向上・充実に資する取組を検討・実施する。</p> <p>また，市の事業所管部署と連携を図り，市における総合的な交通環境の整備やスポーツ振興施策，コミュニティ施策等の視点ももちつつ，受託内容の拡充，新たな事業の受託，指定管理者制度への対応など創意工夫に基づく取組を推進する。</p>		
達成指標	①	内容	接遇に関する利用者満足度
		基準値（平成30年度）	95.3%（市民サービス事業） 90.7%（管理運営事業）
		令和元年度実績	100%（市民サービス事業）
		目標値（令和4年度）	90.0%以上 維持
	②	内容	従事者向け各種研修の累計受講者数
		基準値（平成29年度）	年間31人
		令和元年度実績	42人
		目標値（令和4年度）	4年間累計120人以上 継続
取組計画			
年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス向上等に資する取組の創意工夫，検討・提案 ・業務の実施におけるリスク管理及び対応の徹底 ・利用者満足度調査の実施（市民サービス事業） ・従事者向け接遇研修等の実施 		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○4月から市が開始したシェアサイクル事業（社会実証実験）に関して，事業所管課や運営事業者と連携を図るとともに，サイクルポートの増設に適切に対応した。 ○せんがわ劇場事業（4月から）及び受動喫煙防止対策事業（9月から）を，新たに受託した（委託に当たっては公社のノウハウや既存の体制の活用を提案した）。 ○適切な業務の実施につなげるため，安全運転講習会や，自衛消防訓練等を計画的に実施した。 ○利用者満足度調査（市民サービス事業）を実施し，その結果をホームページで公開した【満足度100.0%（前回調査比+4.7ポイント）】。 ○より良いサービスの提供につなげるため，接遇研修や情報セキュリティ研修を行った【受講者数42人】。 		
年度評価	S：計画よりも進捗		
今後の取組における課題等	<p>→受託業務に適切に対応する中で，サービス向上等に向けた創意工夫に努めていく必要がある。</p> <p>→災害時等の臨時的な対応においては，事業所管課との情報共有を徹底し，円滑に実施につなげていく必要がある。</p>		

視点 1	受託事業におけるサービス向上・充実，効率化の推進		
取組項目	1 - 2 受託事業における効率化の推進 (Cost)		
取組概要	市からの受託事業を実施するに当たり，これまで蓄積してきたノウハウや実績を活かしながら，創意工夫に基づく業務の見直しや改善の取組の検討・提案に取り組み，業務効率の向上やコストの抑制・縮減につなげる。		
達成指標	①	内容	業務の効率化，コスト抑制等に関する見直し件数
		基準値（新規の取組）	—
		令和元年度実績	0 件
		目標値（令和 4 年度）	4 年間累計 5 件以上 推進
	②	内容	民間事業者への委託業務（調査点検，警備，清掃など）の発注における競争発注率（発注金額の割合） ※シルバー人材センターや障がい者団体への発注は除く
		基準値（平成 2 9 年度）	5 2 . 2 %
		令和元年度実績	5 2 . 5 %
		目標値（令和 4 年度）	5 0 . 0 % 以上 維持
取組計画			
年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受託事業における業務プロセス等の検証 ・ 受託事業におけるコスト状況の検証 ・ 受託事業における業務効率やコスト抑制等に資する取組の創意工夫，検討・提案 ・ 業務委託における公正性や透明性の確保 		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各業務の実情を踏まえ，既存のマニュアルの改定を行うほか，新たなマニュアルを作成した。 ○ 各受託事業における繁忙度や業務量などの状況を踏まえ，業務効率の観点から，次年度からの執行体制の見直しについて検討を行った。 ○ 委託業務の発注に当たり，競争性の確保に努めた 【競争発注率 5 2 . 5 %（前年度比 ▲ 0 . 5 ポイント）】。 ※シルバー人材センター及び障がい者団体への発注を除く ○ 公社規程に基づく委託業務の適正な発注に取り組んだ。 		
年度評価	B：概ね計画通りに進捗		
今後の取組における課題等	<ul style="list-style-type: none"> → サービスの維持・向上と業務の効率化・コスト抑制のバランスに留意しながら，各種検証や業務の見直し検討に取り組んでいく必要がある。 → 効率化やコストに対する意識を高めながら日頃の業務の遂行に努めていく必要がある。 		

視点1	受託事業におけるサービス向上・充実，効率化の推進		
取組項目	1-3	受託事業における適切な事務処理の推進(Delivery)	
取組概要	市からの受託事業を仕様に基づいて着実に実施するに当たり，各業務の定期的又は随時の進捗管理を徹底する。 また，市からの委託料や施設の使用料をはじめとした多くの公金等を取り扱うため，正確かつ迅速な取扱いを徹底する。		
達成指標	①	内容	市からの受託事業における事務処理の進行管理
		基準値(平成29年度)	業務の進行管理の徹底
		令和元年度実績	進行管理の徹底
		目標値(令和4年度)	業務の進行管理の徹底 継続
	②	内容	市との契約に基づく施設使用料等の納付期限の遵守
		基準値(平成29年度)	市への公金納付期限の遵守
		令和元年度実績	納付期限の遵守
		目標値(令和4年度)	市への公金納付期限の遵守 継続
取組計画			
年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的又は随時における業務の進捗確認及び適切な対応 ・使用料等の収納・集金・保管・納付の適正処理 ・公認会計士による月次・年次での会計帳票類の確認及び公認会計士の指導を踏まえた対応 		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○事務局全体(正規職員)や事業係におけるミーティングを活用し，業務に関する情報共有を図るとともに，業務の進捗管理や情報共有を行った【進行管理の徹底】。 ○施設等で収納した使用料等について，適切な管理を徹底するとともに，それぞれの期日に応じて，遅延することなく市への納付を確実にを行った【納付期限の遵守】。 ○公認会計士による会計帳票類の定期的な確認や指導・助言を受ける中で，適切な会計処理に努めた。 		
年度評価	A：計画通りに進捗		
今後の取組における課題等	<ul style="list-style-type: none"> →仕様に基づく業務の確実な実施に当たっては，引き続き，複数の視点からの進行管理の徹底に努めていく必要がある。 →業務遂行上で，様々な事態があった場合でも，必要な業務を着実に執行するため，日頃から対応の備えを多角的に検討しておく必要がある。 		

視点 1	受託事業におけるサービス向上・充実，効率化の推進		
取組項目	1-4 受託事業に関する取組の検証		
取組概要	市からの受託事業に関する取組実績を振り返り，現状の把握や課題の整理に基づく見直し・改善に向けた取組の方向性を整理・確認し，職員における気付きを促しながら，その後の取組に活かすなど，P D C A マネジメントサイクル※ ¹ を活用した取組を推進する。		
達成指標	①	内容	受託事業に関する検証の仕組みづくりと取組の定着
		基準値（新規取組）	－
		令和元年度実績	仕組みの構築
		目標値（令和4年度）	事業検証の取組定着 推進
	②	内容	受託事業の検証に関する委員会等の累計開催回数
		基準値（平成29年度）	年間7回（QC委員会※ ² 4回，事業推進会議3回）
		令和元年度実績	11回
		目標値（令和4年度）	4年間累計30回以上 充実
取組計画			
年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・受託事業の振り返りに基づく取組検証に関する仕組みの構築（P D C A に基づく各種取組のスパイラルアップ） ・QC委員会等の活用推進 ・事業所管部署との情報共有，意見交換の実施 		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○主要な事業を対象とした振り返りに基づく取組検証の試行実施に向けて，仕組みを検討・整理した【仕組みの構築】。 ○QC委員会や事業推進会議を開催し，サービス向上や業務の効率化に向けた検討を行った【QC委員会4回，事業推進会議7回】。 ○事業所管課との定期的なミーティングを通して，受託事業に関する情報や課題等の共有を図るとともに，対策等の検討を行った。 		
年度評価	A：計画通りに進捗		
今後の取組における課題等	<p>→令和2年度からの受託事業に関する取組検証においては，QC委員会を活用しつつ，様々な視点からの見直し，改善余地の検討に取り組んでいく必要がある。</p> <p>→より良いサービスの提供や，業務の効率化，仕様に基づく着実な履行につなげるため，引き続き，事業所管課と密に連携を図る必要がある。</p>		

※1 Plan(計画)－Do(実施)－Check(評価)－Action(改革・改善)という一連の流れ(サイクル)を活用し，取組の振り返りに基づき，日常業務等の適切な実施や見直し，改善につなげる仕組みのこと

※2 サービスの向上を図るために，現状の分析や改善策等の検討，改善の取組実施後の検証などを行う会議

視点 2	地域貢献の推進			
取組項目	2-1 市民雇用の推進			
取組概要	市民との連携による協働を推進し、サービスの担い手として市民の力を活かす観点から、受託事業の状況に応じて雇用機会を確保しながら、積極的に市民雇用の推進する。			
達成指標	①	内容	公社の雇用職員全体（正規職員を除く）における市内在住者の割合（市民雇用率）	
		基準値（平成29年度末）	86.8%	
		令和元年度実績	87.2%	
			目標値（令和4年度末）	86.0%以上 維持
	②	内容	事務局以外に勤務する公社の雇用職員における市内在住者の割合（市民雇用率）	
		基準値（平成29年度末）	90.6%	
令和元年度実績		89.9%		
		目標値（令和4年度末）	90.0%以上 維持	
取組計画				
年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良好な勤務環境の維持及び改善に向けた取組の検討，推進 ・ 受託事業を通じた新たな雇用機会の確保の検討，推進 ・ 雇用機会（職員募集）に関する情報提供の推進 ・ 女性職員割合の維持（30%以上） 			
取組実績	<p>○ クールビズや熱中症対策推進のほか，計画的な休暇取得，定時退社の励行等により，良好な勤務環境の維持に努めた。</p> <p>○ 新規に受託したせんがわ劇場において，受付窓口を担うに当たり，新規に雇用した職員を配置した。</p> <p>○ 職員の募集に際しては，市報や調布エリアを中心に配布される民間媒体を活用し，広く市民への周知を図りながら，市民雇用の推進した【市民雇用率87.2%（前年度+0.4ポイント），施設等の市民雇用率89.9%（前年度比▲0.3ポイント）】。</p> <p>○ 働きやすい環境の確保に努めた中で，女性職員の割合は，41.3%（前年度比+0.5ポイント）となった。</p>			
年度評価	B：概ね計画通りに進捗			
今後の取組における課題等	<p>→ 良好な勤務環境の維持に努めつつ，今後も引き続き，市民雇用に取り組んでいく必要がある。</p> <p>→ 人材確保の困難化が見られる中で，業務の安定的な実施にも留意しながら，必要となる職員の確保に取り組んでいく必要がある。</p>			

視点 2	地域貢献の推進		
取組項目	2-2 障がい者の就労機会の提供		
取組概要	障がい者の社会参加を支援するため、市からの受託事業において、福祉作業所と連携した多様な取組を推進する。 また、法人として、障がい者雇用に関する法定雇用率※を遵守する。		
達成指標	①	内容	障がい者団体への業務発注件数（年間契約を除く）
		基準値（平成29年度）	年間11件
		令和元年度実績	16件
		目標値（令和4年度）	4年間累計50件以上 拡大
	②	内容	障がい者雇用に関する法定雇用率の遵守・継続
		基準値（平成29年度）	法定雇用率の遵守・継続
		令和元年度実績	法定雇用率の遵守・継続
		目標値（令和4年度）	法定雇用率の遵守・継続 維持
取組計画			
年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者団体への継続的な業務の発注 ・障がい者団体への新たな業務発注の検討、実施 ・障がい者団体等との情報共有や意見交換の実施 ・障がい者雇用の継続（法定雇用率の遵守） ・障がい者雇用の拡充検討 		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○年間契約であるメール業務やこころの健康支援センターにおける清掃業務などを継続的に委託した ○簡易的な業務を中心に、既存の実施事業における障がい者団体との連携を検討した【発注件数：16件（年間契約を除く）】。 ○夏季に開催されている市民プールの運営業務において、障がい者団体による飲食物の販売機会を継続した（21回）。 ○調布市福祉作業所等連絡会と適宜情報交換を行い、業務に関する情報の共有などに努めた。 ○事務局勤務における障がい者の雇用継続的に取り組むとともに、法人としての法定雇用率を満たした【法定雇用率の遵守・継続】。 		
年度評価	A：計画通りに進捗		
今後の取組における課題等	<ul style="list-style-type: none"> →今後も、調布市福祉作業所等連絡会との情報共有等に努めながら、継続的な業務の発注や、多様な形での連携に取り組んでいく必要がある。 →障がい者雇用については、関係機関等と連携しながら、雇用の継続が可能となるよう努めていく必要がある。 		

※ 事業主における従業員のうち、障がい者の雇用の促進等に関する法律において義務付けられている障がい者の雇用割合のこと

視点 2	地域貢献の推進		
取組項目	2-3 市内事業者との連携の推進		
取組概要	地域経済の発展に寄与する観点から、市からの受託事業における公社からの業務委託（再委託）については、「協力事業者登録制度※」の活用及び運用改善を図りながら、市内事業者との連携に取り組む。		
達成指標	①	内容	市からの受託事業の実施に当たっての公社からの業務委託（調査点検、警備、清掃など）における市内事業者の比率（発注金額の割合）
		基準値（平成29年度）	86.9%
		令和元年度実績	87.2%
		目標値（令和4年度）	87.0%以上 向上
	②	内容	協力事業者登録制度における市内事業者登録数
		基準値（平成29年度末）	96社
		令和元年度実績	93社
		目標値（令和4年度末）	100社以上 拡大
取組計画			
年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 協力事業者登録制度の活用推進及び検証 市内事業者と連携した受託事業実施の推進（発注推進） 		
取組実績	<p>○協力事業者登録制度の活用を図ったものの、登録事業者の廃業等に伴い、登録事業者数が減少した【市内事業者登録数：93社（前年度比▲4社）】。</p> <p>○事務の発注にあたっては、市内事業者との連携を推進し、発注総額の増加につなげたものの、市内事業者への発注割合は低下した【市内事業者発注率：87.2%（前年度比▲0.6ポイント）】。</p>		
年度評価	B：概ね計画通りに進捗		
今後の取組における課題等	→協力事業者登録制度への、市内事業者を中心とした登録を促すため、当該制度の事業者における認知度向上に向けた工夫を検討・実施する必要がある。		

※ 公社の契約における安定性・効率性の確保を目的に、市内事業者を主な対象として、公社からの受注を希望する事業者を一定の審査を経て登録する制度

視点 2	地域貢献の推進		
取組項目	2-4 就労体験に関する取組の推進		
取組概要	市からの受託事業の実施や法人運営等の機会を通して、様々な主体と連携しながら、子どもや若者、障がい者等における就労意識の啓発や就労意欲の向上等に寄与する観点から、積極的に就労体験の受入に取り組む。		
達成指標	①	内容 就労体験の累計受入者数	
		基準値（平成29年度）	28人（参考：平成27年～平成29年の平均16人）
		令和元年度実績	20人
		目標値（令和4年度）	4年間累計60人以上 維持
	②	内容 就労体験が可能な延べメニュー（業務）数	
		基準値（平成29年度）	累計20種類
		令和元年度実績	累計30種類
		目標値（令和4年度）	累計30種類以上 充実
取組計画			
年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者就労支援に関する関係機関等との連携による障がい者の就労体験の受入 ちょうふ若者サポートステーションとの連携による若者の就労体験の受入 教育委員会及び中学校との連携による中学生の職場体験の受入 		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○調布市障害者地域生活就労支援センターと連携し、障がい者の就労体験を受入れた【受入者数：4人】。 ○ちょうふ若者サポートステーションと連携し、若者の就労体験を受入れた【受入者数：4人】。 ○調布市教育委員会が実施する職場体験事業に協力し、3校の生徒を受入れたほか、新たに明治大学附属明治中学校と連携し、生徒の受入を行った【受入者数：12人】 ○より良い就労体験の受入につなげるため、体験のメニューを10種類拡大した【体験メニュー：累計30種類】。 		
年度評価	S：計画よりも進捗		
今後の取組における課題等	<ul style="list-style-type: none"> →今後も関係団体と連携しながら就労体験の受入を継続することを通じて、体験者における就労意識の啓発や就労意欲の向上などに貢献できるようにしていく。 →安定的かつより良い就労体験の受入れを行うに当たり、受入体制の整備や関係団体の意見等も踏まえた体験メニューの工夫に取り組む必要がある。 		

視点3	組織の活性化	
取組項目	3-1 情報提供の推進	
取組概要	法人経営に関する情報を積極的かつ分かりやすく発信することで、経営の信頼性・透明性の向上につなげる。 また、市からの受託事業におけるサービス向上のほか、市民における公社の認知度を高める視点も踏まえた情報提供に取り組む。	
達成指標	①	内容 法人経営に関する基本的な情報や関連資料の公表
		基準値（平成29年度） 継続的な情報の提供・更新
		令和元年度実績 公社独自ホームページの開設
		目標値（令和4年度） 公社独自のホームページを活用した情報提供の充実 充実
	②	内容 市からの受託事業に関する情報の提供
		基準値（新規の取組） -
		令和元年度実績 情報提供の推進
		目標値（令和4年度） 受託事業関連の情報提供・更新 推進
取組計画		
年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・適時・適切な情報提供の推進 ・市民における公社の認知度向上に資する情報提供の推進 ・独自のホームページの開設，運用開始 ・様々な媒体を活用した情報発信の検討，実施 	
取組実績	<p>○市ホームページの公社情報提供ページを活用して，事業計画・予算や事業報告・決算，評議員会・理事会議事要旨，利用者満足度調査結果，中期経営目標の取組状況などについて，情報提供を行った。</p> <p>○経営の信頼性・透明性の向上等を図る観点を踏まえ，公社独自のホームページを3月末に開設した【独自ホームページの開設】。</p> <p>○受託事業に関する情報提供手段の一つとして，自転車等駐輪場専用ページの活用や，独自のホームページにおける受託事業の紹介のほか，SNS（Twitter）の活用を試行した【情報提供の推進】。</p>	
年度評価	A：計画通りに進捗	
今後の取組における課題等	<p>→公社独自のホームページの活用にあたっては，分かりやすさや，適宜の情報更新等に努めることで，経営の信頼性や透明性の向上につなげていく必要がある。</p> <p>→受託事業におけるサービス向上等の観点からの取組については，事業所管課とも連携する中で，検討を進めていく必要がある。</p>	

視点 3	組織の活性化		
取組項目	3 - 2	地域や団体等との連携	
取組概要	<p>市内で活動する地域の一員として、法人としての存在意義や認知度の向上、さらには、法人活動を発展させる観点から、地域で活動する公益的な法人をはじめ、地区協議会、商店会などといった多様な主体との日常的な関係づくりに取り組む。</p> <p>また、平成30年度から参加した調布市見守りネットワーク（みまもっと）など、地域で取り組む活動などにも参加・協力していく。</p>		
達成指標	①	内容	多様な主体との顔の見える関係づくり
		基準値（新規の取組）	－
		令和元年度実績	取組の検討
		目標値（令和4年度）	公社に対する認知度向上 推進
	②	内容	地域における会合や行事等への参加・協力
		基準値（新規の取組）	－
		令和元年度実績	2回
		目標値（令和4年度）	4年間累計20回以上 推進
取組計画			
年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体との意見交換や情報共有の実施 ・地域における様々な参加機会等の把握 ・様々な地域行事等への参加・協力の検討 ・市内における公益的な団体との連携の検討、実施 ・認知症サポーター講座の受講 		
取組実績	<p>○調布市シルバー人材センターをはじめ、これまで継続的に連携を図っている団体のほか、新たに国領地域の商店会との意見交換等を行った【取組の検討】。</p> <p>○地域で活動する団体や地域で行われる行事等に関する情報収集を行った。</p> <p>○（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団とせんがわ劇場の受付業務において連携を開始した。</p> <p>○「みまもっと関係団体ネットワーク会議」へ参加したほか、認知症サポーター養成講座の受講に取り組んだ【参加・協力回数：2回】。</p>		
年度評価	A：計画通りに進捗		
今後の取組における課題等	<p>→地域に根差した団体等との「顔の見える関係づくり」を進めていく中で、公社の活動に対する認知度向上等につなげていく必要がある。</p> <p>→市内で活動する地域の一員として、多様な主体との連携を図るに当たっては、できることから、地道な取組を進めていく必要がある。</p>		

視点3	組織の活性化		
取組項目	3-3 職員の育成・人材確保		
取組概要	効率的で安定的な法人運営や事務局体制の強化を図るため、人材育成方針を踏まえ、職員のスキルアップや職務意欲の向上のほか、意識改革などに資する取組を推進する。 また、様々な業務の担い手となる嘱託・臨時職員の安定的・継続的な確保に取り組む。		
達成指標	①	内容	事務局におけるOJT※ ¹ の推進
		基準値（平成29年度）	OJTの活用・継続
		令和元年度実績	OJTの推進
		目標値（令和4年度）	OJTによるスキル継承 維持
	②	内容	正規職員におけるOFF-JT※ ² 受講累計回数
		基準値（平成29年度）	年間13回
		令和元年度実績	16回
		目標値（令和4年度）	4年間累計40回以上 維持
取組計画			
年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 各職員のキャリアプランを踏まえた人材育成の推進 OJT、OFF-JTの推進 人材の確保に向けた公社業務のPR、良好な勤務環境の維持等の推進 職員における地域貢献意識の醸成 		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○各職員のキャリアプランを踏まえた研修の受講等を推進した。 ○OJTにより、職員における業務知識やノウハウの継承のほか、若手職員の育成を推進した【OJTの推進】。 ○正規職員における外部研修等の受講を通じて、スキルアップや職務意欲の向上を図った【受講回数：16回】 ○クールビズや熱中症対策推進のほか、計画的な休暇取得、定時退社の励行等により、良好な勤務環境の維持に努めた。 ○新たな中期経営計画に基づく取組の初年度に当たり、市民雇用をはじめとする従来からの取組に加え、地域や団体等との連携の目的や必要性について、職員の理解を深めた。 		
年度評価	A：計画通りに進捗		
今後の取組における課題等	<ul style="list-style-type: none"> →人材育成を更に推し進めて行く必要がある。 →OJTやOFF-JTを活用しながら、中長期的な視点での人材育成に取り組み、組織の強化などにつなげていく必要がある。 →経営の信頼性・透明性等の向上を図るためには、各種取組に対する職員の意識をより高めながら、組織的な対応を推進する必要がある。 		

※1 職場での実務を通じて職員の教育を図ること

※2 職場外での研修等を受講し、必要な知識の習得を図ること